



今日から数えて333日後、皆さんは卒業式を迎えます。約1年後なのでたっぷり時間があるように思うかもしれませんが、ここからは逆算の視点を大事に「今すぐできること」「今日できること」「今週できること」と、自分でやるべきことをリストアップし、それを消化することで一歩ずつ進路決定に近づいていく。そんなイメージで学校生活を送ってほしいと思っています。進路を自分の力で決め切るために、自分の人生について考える時間を大切にしてください。後悔のない道を選んでください。そして選んだ道に向かって本気で努力してください。皆さんの「本気」を後押しできるように、先生たちも頑張ることをお約束します。

1. 受験に向けて理解しておくべきこと

「指定校推薦・推薦型選抜・総合型選抜」など、入試方式の名称がたくさんあり、受験に関心を持ち始めた皆さんの中には（何がなんだかかわからない!）と思っている人もいるかもしれませんが、現段階で全員に理解しておいてほしいことは下記のとおりです。入試システムの違いは次号で確認します。

- ① 欠席・遅刻・早退のカウントは、推薦入試の出願条件に影響がある
→志望校の定める規定回数を超えていればチャレンジする資格すらない。安易に休まないこと。
- ② 「評定平均値」とは、1年1学期から～3年1学期までの成績評定の平均である
→3年1学期の過ごし方で、選べる学校の選択肢に大きな差が出る場合もある。0.1の差が人生を分ける。
- ③ 「一般入試は勉強が長期間大変だから、早めの総合型選抜(or 推薦選抜)で進路決定しよう」は大間違い
→総合型は筆記試験のほかに、面接、小論文、課題型レポートが課されることがほとんど。いま勉強だけで大変なのに、それ以外に面接・小論文・レポートの準備や練習まで頑張れますか?よく考えて選択を。
- ④ お金にまつわる現実から目を背けない
→4年間で500万円以上の大金を払って大学に進学させてもらうことになります。それに値する学問を身につけようとする気持ちがあるかどうか。その学校に500万円を支払っても通いたいと思うか。特に学校選びにこだわろう。奨学金申請の必要があるかどうか、保護者と話をして確認しておくこと。
- ⑤ タイミングを逃さない・期日の厳守
→「〇月〇日までに、▽▽を希望する人は申し出てください」「××の書類は〇日までに提出してください」「学費は×日までに納入してください」と、担任やCG部の先生、進路先から指示されることが増えていきます。自分の勝手な思い込みやいい加減な対応で忘れていると、本当に書類をもらえなかったり、試験を受けられなくなったり、入学できなくなったりして、「後悔しても遅い」という状況になります。日頃から指示された内容や大事なことを忘れやすい人は、スマホにメモをしたり受験用の手帳を用意したりすることで失敗しない工夫をしよう。
- ⑥ 保護者と話をしよう
→この先、面談をするときに困るのが、「生徒本人と保護者の考えが異なっていて方向性が定められない」ということです。そうなると、どの学校を目標に頑張るのか、何校受験するのか何も見通しを立てられないまま受験勉強をする羽目になります。自分の今思っている進学・就職に対する考えを、保護者に伝えていますか。保護者には賛成してもらっていますか。なんとなく恥ずかしくて親に話をせず、勝手に自分の進路を決め込んでいる人は、ぜひ早めに相談しておいてください。また、学部学科が未定で何も自分のやりたいことがない人も、保護者と相談すべきタイミングに来ています。担任があなたの将来を決めるわけではありません。いつまでも「未定」と言っていると、本当に何もアドバイスできないまま「何となく」決めた進路に進むことになります。あなたのことを一番よく知っている保護者に相談するのも、解決の糸口になると思います。

2. 受験生への格言 — 本当の「頭のよさ」ってなんだろう?(著:齋藤 孝)より

「先が読める」ことは本当の頭のよさの重要な要素である。「いま楽ができるかどうか」で物事を判断してはならない。本当の知力・知性とは、知識があることだけではない。本当の頭のよさは「知(判断力)」「仁(誠意)」「勇(行動力)」でつくられる。



左下でご紹介したのは、明治大学教授でTVのコメンテーターとして活躍している齋藤孝さんの著書『本当の「頭のよさ」ってなんだろう?』に出てくる格言で、私が高校生の皆さんに読むことをお薦めしているものです。小・中学生でも読めるほど平易な表現で書かれていて、スツと頭に入りやすい文章だと感じます。著者曰く、「知—知識があるだけでなく、大事な本質をとらえた判断ができるか。「仁—一人に対して、誠意、思いやりをもった対応ができるか。「勇—実際に行動をおこすパワーや勇気があるか。」という点がポイントなのだそうです。「知・仁・勇」は一見すると簡単な漢字ですが、その漢字の定義は深いですね。物事の考え方や人生のとらえ方が勉強になるので、私は年に数回読み返すようにしています。今後も学校生活の時期に合わせて格言をお知らせしようと思っています。

3. 新たな変更点・注意点について

まもなく授業がスタートしますが、学校生活において昨年までと大きく異なる点がひとつあります。それは3年生の登校時間が、時間割によってバラバラだということです。曜日によっても異なりますが、1時間目から選択授業をとっている人もいれば、3時間目の必修授業からスタートの人もいます。また、午後の授業がないため下校する人もいれば、6時間目まで授業がある人もいます。そのため **SHRは、原則4時間目が終わったあとの昼休みの時間帯になります。**

今までのように「8：25までに登校しなさい」「朝学習に取り組みなさい」と担任に言われることはなくなりますが、それは「自分自身で責任をもって時間割を管理し、空いている時間は自学自習に励みなさい」ということです。皆さんが単位制高校を選択した最大のメリットといっても過言ではない「自分の進路に合わせた時間割」がいよいよ始まります。ぜひ芦花高校の「単位制らしさ」を味わいながら、自分の進路実現のために努力を続けてほしいと思います。

もちろん、授業中に登校してきて1階の廊下で騒ぐことのないように、周りに対する配慮を忘れずに。お互いの頑張りを静かに応援できる関係を維持してください。これまでどおり2階の長机やラウンジを使うことも可能ですが、2年生の授業の邪魔にならないように気をつけて利用してください。

4. 1学期の学校行事について

遠足 5月2日(木) 劇団四季ミュージカル「アナと雪の女王」@浜松町

➡ミュージカルを観る前に、都内散策も計画しています。詳細は追って連絡があります。

体育祭 5月17日(金) @芦花高校

➡今年の体育祭は皆さんが中心となって盛り上げる役割となります。委員会や係、応援団のトップを任されて忙しくなる人もいると思いますが、団の仲間と力を合わせてより良い体育祭づくりに力を尽くしてくれることを期待しています。過去2年連続、午後は雨のため短縮実施を経験しているので、今年こそ最後の競技まで天気に恵まれて実施できると良いですね。



5. 今後の予定

日付	行事	日付	行事
4/9 (火)	入学式 (在校生は家庭学習日)	5/1 (水)	体力テスト
4/10 (水)	避難訓練・対面式・部活紹介	5/2 (木)	3年遠足 (劇団四季)
4/11 (木)	3年進路指導会	5/17 (金)	体育祭
4/17 (水)	一斉委員会	5/28-31	中間考査
4/18 (木)	授業なし・健康診断 AM	6/4 (火)	共通テスト模試
4/24 (水)	一斉部会	6/15 (土)	授業公開 (全日)

3年生では HR 単位の一斉授業が少なくなるため、クラスの友達と顔を合わせて一緒に何かをする時間が今までよりも短くなりますが、「おはよう」「午後も授業?」といった仲間への些細な声掛けを大切に。クラスの居心地の良さや学習環境は、学校生活の充実度に影響してくるものです。お互いを認め合って穏やかに過ごしましょう。